

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

2014

July
No.1029

7月

表紙 チャレンジデー2014の
オープニングイベント
「おはようラジオ体操」



**臨時福祉給付金、
子育て世帯臨時特例給付金**

申請手続きの流れ

① 申請書が自宅に郵送されます（6月下旬までに）

対象となる可能性のある人には郵送しています。
対象となる人で、申請書が届かない場合は、ご連絡ください。



② 申請書を窓口へ提出してください（7月1日～10月1日まで）

申請書に必要な事項を記入の上、次の書類を添付して窓口へ申請してください。



申請に必要な書類等

○本人確認書類

住民基本台帳カード、運転免許証、保険証などの写し
※臨時福祉給付金を世帯一括で申請する場合は、全員の本人確認書類の写し

○振込先の口座が確認できる書類

金融機関名、口座番号、口座名義人（カナ）が分かる通帳やキャッシュカードの写し
※通帳の写しは表紙ではなく、1枚開いた名前、店番号、口座番号が記載された面をコピーしてください

○持ち物 印鑑

★臨時福祉給付金の申請で次の事項に該当する人は追加書類が必要です★

加算対象者

高齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金等の受給者で65歳未満（昭和24年3月2日以降生まれ）の人は年金額改定通知書の写しまたは年金証書の写しが必要となる場合があります。

町民税非課税者に扶養されている人

扶養者の住所が本別町以外の場合、その扶養者の非課税証明書が必要です。

③ 給付金が支給されます

申請時に指定した口座に入金されます。
※申請から入金まで1か月程度かかる場合があります



“振り込み詐欺”や“個人情報の搾取”にご注意ください

「臨時福祉給付金」および「子育て世帯臨時特例給付金」に関して

- 町や厚生労働省などがATM（銀行・コンビニなどの現金自動支払機）の操作をお願いすることや、ATMを自分で操作して、他人からお金を振り込んでもらうことは絶対ありません
- 町や厚生労働省などが、「臨時福祉給付金」や「子育て世帯臨時特例給付金」を支給するために、手数料などの振り込みを求めることは絶対にありません

このような電話や郵便が届いたら、迷わず、役場や最寄りの警察、警察相談専用電話（#9110）にご連絡ください

問い合わせ

臨時福祉給付金 保健福祉課社会福祉担当 ☎22-9236
子育て世帯臨時特例給付金 子ども未来課子ども・子育て支援担当 ☎22-8130

「臨時福祉給付金」 「子育て世帯臨時特例給付金」支給します

お知らせします

町では、平成26年4月から消費税率が8%へ引き上げられたことに伴い、所得の低い人や子育て世帯の負担を緩和するため、「臨時福祉給付金」および「子育て世帯臨時特例給付金」を支給します。

支給対象となる可能性がある人には、町より申請書をお送りしますので、忘れずに申請手続きをしてください。

申請期間

7月1日（火）～10月1日（水）

※給付金の支給は、申請から1か月程度かかる場合があります

申請窓口

子ども未来課子ども・子育て支援担当（役場1階）
保健福祉課社会福祉担当（総合ケアセンター内）
役場勇足・仙美里出張所

臨時福祉給付金

支給対象者

平成26年1月1日において本別町に住居登録があり、平成26年度分の町民税（均等割）が課税されていない人

※ただし、町民税が課税されている人の扶養親族となっている人、生活保護の受給者などは対象外です

支給額

1人につき1万円
※支給対象者で次の事項に該当する人は加算対象者となり1人につき5千円が加算されます

- ①高齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金等の受給者で平成26年3月分の受給権があり、4月分または5月分の年金を受給している人
- ②児童扶養手当、特別障害者手当等の受給者などで、平成26年1月分の手当等を受給している人

子育て世帯臨時特例給付金

支給対象者

平成26年1月1日において本別町に住居登録があり、平成26年1月分の児童手当（特例給付を含む）を受給している人で、平成25年の所得が児童手当の所得制限限度額に満たない人

※ただし、臨時福祉給付金の対象となる人、生活保護の受給者などは対象外です

支給額

児童手当の対象となる児童1人につき1万円

※受けることができるのは、どちらか1つの給付金です

本別空襲の日

決して忘れてはならない7月15日

平和への誓い
新たに

第二次世界大戦終戦間際の昭和20年7月15日、本別町は千勝で最大の被災地となる空襲を受けました。本別町史には「米軍機は、まったく非武装の本別市街を、地上から乗員の顔やジャンパーが見えるほどの超低空飛行で機銃弾を打ち込み、爆弾を投下するなど、およそ50分にわたり攻撃を繰り返した」とあります。40人が死亡し、279戸が全焼、被災者総数は1915人、火事は手のほどこしやうがなく三日三晩に及び、一時は火の明かりで日常の作業ができるほどであったといえます。

それから69年が経過し、町並みも生まれ変わり、今や戦争の傷跡を見つづけるのも難しくなりました。空襲を受けた私たち本別町民は、この悲惨な戦争を繰り返さないよう後世に伝えていかなければなりません。本別空襲のあった7月15日には、空襲で犠牲になられた人や幾多の戦役で戦死された人のご冥福をお祈りし、二度と悲惨な戦争を起こさない

企画展「7月15日本別空襲を伝える ～北海道空襲とほんべつ～」を開催します

北海道で5番目の被害となった本別空襲。道内で大きな被害を受けた他のまちの空襲との関わりから、来年迎える戦後70年にむけて、改めて平和の尊さを考えます。

期 間 7月1日(火)～8月30日(土)

開館時間 火～金曜日 午前9時～午後4時
土・日曜日 午前9時～午後3時

休館日 月曜日
ところ 歴史民俗資料館

入館料 無料

問い合わせ 歴史民俗資料館 ☎22-2141 (内線410)
または図書館 ☎22-5112

※本別空襲に関する資料を収集しています。写真・文書・生活用品などがご家庭にありましたら、ぜひ提供ください

空襲を受け3分の2が焼失した本別市街



本別町戦没者・戦災死没者追悼式

とき 7月15日(火) 午前10時

ところ ふれあい交流館 (向陽町)

今年も「本別町戦没者・戦災死没者追悼式」が執り行われます。本別町では、日清・日露・第二次世界大戦の戦役で299人が戦死され、本別空襲において40人の尊い命が奪われています。

追悼式は午前10時に始まり、黙とう、追悼のことは、献花など犠牲者のご冥福をお祈りし、平和への誓いを新たにしています。町民の皆さんの参加をお願いするとともに、黙とうを呼び掛けるサイレンが午前10時05分ごろに吹鳴されますので、一緒に黙とういただきますようお願いいたします。

黙とうをお願いします



昨年の追悼式

国民年金 コトナ

年金記録を確認しよう！
「ねんきんネット」
を「利用ください！」

皆さんがこれまで加入した年金の記録や保険料納付の有無を、インターネット回線を使って確認できます。

日本年金機構のホームページ (<http://www.nenkin.go.jp/ri/www/ri/nel/>) で所定の手続きをすると、年金記録を確認することができます。

役場窓口でも、ねんきんネットを確認できます。

インターネット環境が整っていない人や手続きがよくわからない人などは、役場住民課窓口へお越しください。「ねんきんネット」を利用できます。

何があれは確認できるの？

基礎年金番号が確認できるもの、本人確認書類(運転免許証・健康保険被保険者証など)、印鑑をお持ちください。

ねんきんネットのメリット

①記録の「もれ」や「誤り」の発見が容易になります

年金の加入・未加入、納付状況などが分かりやすく表示されます。また、その月の標準報酬月額なども確認できますので、過去に「国民年金保険料の領収書はあるが未納となっている」など、ご本人の記憶や実際の納付状況と異なる記録の場合には申し立てをすることによって、年金の受取額が増える場合があります。

年月	標準報酬月額	加入状況	納付状況	保険料	支払額
平成15年度	21000	国民	国民	国民	国民
平成16年度	21000	国民	国民	国民	国民
平成17年度	21000	国民	国民	国民	国民
平成18年度	21000	国民	国民	国民	国民
平成19年度	24000	国民	国民	国民	国民
平成20年度	25000	国民	国民	国民	国民
平成21年度	28000	国民	国民	国民	国民
平成22年度	27000	国民	国民	国民	国民

②将来の年金額が試算できます

「年金を受け取りながら働き続けた場合の年金額」など、ご自身の将来設計に合わせた働き方の条件で年金額の試算ができます。



詳しくは
住民課戸籍年金担当へ
022-8128



力がはいります

4年生伝統 本別競輪

なんでもはこべ!!キン肉マン

よさこいヤングマン

知恵と力の騎馬戦

大玉ころがし

お見事



本別中央小学校大運動会 6/7

スローガン「一致団結 勝利へつき進め」

勝利を目指して

仙美里保育所・仙美里小学校大運動会 6/8

スローガン「可能性をこえた優勝をめざして」



幼児もヨーイ・ドン!!

元気くんと力走!

よさこい2014

バトンつないで全校リレー

仙美里人間ばんば

P.T.A・地域の人も頑張りました



ヨサコイソーラン きまった!!

ヒーローになりきって

ばんばDE3人4脚

幼児も頑張ります

渾身の力で

息を合わせて8人9脚

**勇足保育所
勇足小学校・勇足中学校大運動会** 5/31

スローガン
「一致団結 勝利へつき進め」

勇足小学校「いざ決戦のとき」
汗出せ! 声出せ! 力出せ!
勇足中学校「無我夢中」16人の心を一つに!

運動会・体育祭

地域的一大イベント運動会・体育祭。グラウンドでは、今年も元気いっぱいの子供たちの笑顔やたくさんの感動が生まれました。

地域あげでの運動会・体育祭が、5月下旬から6月上旬にかけて町内各小中学校で開催されました。

本番に向けて一生懸命練習を重ねてきた子供たちは、運動会のスローガンの下、学年の枠を越えて、個人・団体種目で勝利を目指して全力で取り組みました。

グラウンドには、応援に訪れた家族や子供たち、先生の声援が響き渡り、地域的一大イベントを盛り上げました。

各校では、地域の人や先生などが参加する種目も用意されるなど、それぞれ趣向を凝らした競技が行われ、グラウンドに集まった全ての人が楽しい一日を過ごしました。



本中名物棒倒し

いなばの白うさぎ

足がもつれて“あぶない”

先生も力がはいります

笑いを誘った部活対抗リレー

本別中学校体育祭 5/31

スローガン
「一致団結 勝利へつき進め」

「一致団結 勝利へつき進め」

住民総参加型スポーツイベント

チャレンジデー2014



パークゴルフ大会

過去最多の5,081人が参加し、2年連続金メダル獲得!

当日は、午前6時の早朝ウォーキングを皮切りに、実行委員会や自治会、各種団体主催によるラジオ体操やパークゴルフ大会など多くのイベントが実施されました。この結果、今回のチャレンジデーでは、住民参加率は64・3%、人口7907人が参加。実施自治体の健康をたたえる参加率に応じたメダル認定で、見事2年連続金メダルを獲得することができました。

住民参加率を競った対戦相手の鹿児島県和泊町の結果は、67・1%となり本町が惜敗しましたが、多くの町民が1日を通して個人あるいは団体でスポーツや運動に親しみました。

人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分間以上継続して運動やスポーツをした「住民参加率」を競い合うスポーツイベント、チャレンジデー2014（チャレンジデー実行委員会）大西光夫会長が5月28日、町内全域で実施されました。



ほんべつ学・第1回講座

春のアクティビティほんべつ探検バスピクニック



本別町をよく知り、自然と触れ合う体験を通して、本別ならではの個性、文化、歴史、資源の大切さなどを学ぶ、「ほんべつ学・第1回講座・春のアクティビティほんべつ探検バスピクニック」（町教育委員会主催）が5月24日、町内で開催されました。

ほんべつの魅力を再発見

この講座は、今年初めての取り組みで、自分たちの住む地域への愛情を育むことを目的として、春、夏、秋、冬の4回のプログラムが予定されています。

第1回の今回は、町内の小学生から大人までの60人が参加し、町の郷土史や文化などについて町の先生たち4人から説明を受けながら、バスで移動して町指定文化財である上押帯神社のカシワや勇足神社のカシワ林などを見学したほか、本別公園では、マメシジミや町で発見された化石、草木などの観察を行いました。昼食では町で生産された食材を食べて知ることを目的に、本別公園内のピーフハウスで、本別産の牛肉や豚肉の焼肉を参加者全員で楽しくいただきました。参加者らは、知ってそうで知らないほんべつの魅力を再発見し、自然の豊かさを学びました。



第12回

ほんべつ元気学宿



第12回ほんべつ元気学宿（実行委員会主催＝山下健司実行委員長）が6月15日から20日の6日間、中央公民館を主会場に行われ、町内3小学校の3～6年生17人が、親元を離れた共同生活を通して、仲間を思いやる心や協力することの大切さを学びました。



今回は豆腐作りに挑戦



恒例の流しソーメンを楽しみました

充実の6日間でたくましく成長

児童らは、釧路教育大学の学生7人とボランティアクラブかめの会員14人のサポートのもと、毎日下校後に洗濯や夕食の材料の買い出しから調理、後片付けに取り組んだほか、期間中に学校の遠足が行われた児童は、朝からお弁当づくりに挑戦しました。さらに、今回はゲンキチンで本別産中生光黒大豆を使用した豆腐作りも体験。18日にはお楽しみ夕食会として、地域の婦人ボランティア6人の協力により、恒例の流しソーメンが行われ、さまざまな食材が流れてくるたびに子供たちは歓声を上げていました。参加した児童らは、「何でも自分で考えて行動できるようになりました」「元気学宿でやったように家でも自分で洗濯したい」などと語り、一回り成長した、たくましい表情を見せていました。

Canona Japan 設立記念式



祝賀会

EDS加工された本別産カラマツなどの木材を利用して家具などの木工製品を製造販売するCanona Japan株式会社（中野翔太社長）の設立記念式・祝賀会が5月29日、南3丁目の事務所兼ショールーム見学の後、道の駅「ステラ★ほんべつ」で開催され、起業に関わった関係者ら約50人が会社の設立を祝いました。

新たな物を生み出し、町の発展に努めたい

式では、中野社長が「地域資源であるカラマツ材を利用して、新たな物を生み出し、町の発展に努めたい」とあいさつ。高橋正夫町長らがお祝いの言葉を述べた後、町への感謝状および記念品目録の贈呈が行われました。

同社は、本別町起業家等支援事業を活用し、1月に設立。机や名刺入れなど多彩な木工製品全般を製作可能で、今年度から本町の誕生記念品として乳児に贈られるカラマツ材の積み木も製造しています。

従業員は3人で、年間販売額3,600万円を目指します。



ショールーム見学会の様子



式辞を述べる中野翔太社長

EDS加工とは

木材に一定の熱を加えることで、木材内部の組織を改良し有効材に変える技術のこと。カラマツ材の特徴である曲がる、反るなどの欠点も除去することが可能であり、防虫・防カビのほか、やにも内部で固められ、強度も加工前と比べ倍近くになります。

第3子以降の保育料を無償化します

町では、子ども・子育て支援充実の取り組みとして、18歳未満の子どもを3人以上扶養している場合に、第3子以降に係る保育所ならびに幼稚園の保育料を無償化とすることをしました。

保育料は所得に応じて負担額が決まられており、これまでは同一世帯から保育所に3人以上同時入所している場合、保育料が3人目以降は無料となっていました。

町では、子育て支援の充実のため、4月からは、同一世帯で18歳未満の子どもを3人以上扶養している場合、同時入所に問わず保育所に入所している幼児の保育料を第3子以降は無料とし、さらなる保護者負担の軽減を図り、子どもを産んで育てやすい環境を整えました。

また、幼稚園についても保育所と同様に第3子以降の保育料は全額無料となるよう、幼稚園就園奨励費として助成することとしました。



保育所に通所している幼児の保護者には、すでに保育料のご案内をしていますが、幼稚園に通園している幼児の保護者へは、就園奨励費のご案内の際に改めてお知らせします。

保育所・幼稚園等 子育て環境を検討

町では、国の「子ども・子育て支援新制度」に基づき、本別町子ども・子育て支援事業計画の策定作業を次のとおり行います。

- ▶ 昨年行ったアンケート調査の結果を基に、今後5年間の保育所または幼稚園の必要量の見込みを洗い出します。
- ▶ 保育所または幼稚園の必要量の見込みを基に、その確保方策を定めます。
- ▶ その他、アンケート調査の結果を踏まえ保育所、幼稚園を利用しない人の子育て支援を行います。
- ▶ これらの具体的な内容は、町の子ども・子育て会議の中で議論し、検討を進めます。

お問い合わせ
子ども未来課
子ども子育て支援担当
022-8130

このマークは、内閣府が定めた子ども・子育て支援新制度のシンボルマークです。メインコピーの「すくすくジャパン!」には、新制度において充実を図っていく支援によって、子供たちにすくすく育ってほしい、ママやパパにも親として育ってほしい、という思いが込められています。

また、サブコピーとなる「みんなが、子育てしやすい国へ。」には、行政をはじめ社会全体で誰もが安心して子育てができ、「子どもの最善の利益」が実現される国にしていこう、というメッセージが込められています。

4月8日 入学式



可愛らしい10人の1年生を迎え、全校児童49人で勇足小学校の平成26年度がスタートしました。今年度の合言葉は、『笑顔で挨拶 元気に挨拶』。子供たちの元気な挨拶の声が響きわたる学舎の中で、職員一同全力で特色ある教育活動に取り組んでいきます。

各学校の手作りページ

HELLO 勇足小学校

5月31日 勇足大運動会 保育所・小学校・中学校の合同運動会!



青空の下、地域の皆様方に支えていただき、素晴らしい運動会となりました。

2~4年生が地域の自然の素晴らしさを学びます! 6月4日 田植え



J A 本別町青年部勇足支部の皆様にご教わりながら、気持ちを込めて植えました。

立江小学校との交流 7月18日~20日



昨年12月に23回目となる徳島県小松島市立立江小学校児童との交流研修が行われました。18人の訪問児童は、熱気球・スノーモービル・乗馬・スケート・ぱっかんアスレチックなど、真冬の本別ならではの遊びを満喫し、交流集会では、勇足の子供たちと友情を深め、たくさんの感動を胸に帯広空港を後にしていきました。

7月には、勇足小学校の5・6年生児童15人が立江小学校を訪問します。今から南国徳島での熱い研修と雪と氷の上で友情を育んだ友達との再会をととても楽しみにしているところです。

赤十字社「博愛号」6 4が配置されました

災害救援車「博愛号」が6月4日、日本赤十字社北海道支部から同社本別町分区(分区長=高橋正夫町長)に1台配置されました。これは、本町の赤十字社資の実績等が評価されたものであり、車両は地域における災害や事故など各種救援活動および赤十字事業、町の福祉事業等に役立てられます。社資にご協力いただいた町民の皆さんに、心より感謝申し上げます。



心臓マッサージとAED操作に挑戦5 27

家庭教育支援事業「なかよし」による子どもの救命救急講座が5月27日、子育て支援センターで開かれました。参加した乳幼児の子を持つママや妊婦の4人は、講師の本別消防署員から成人や小児・乳児の心肺蘇生法や気道確保の方法について説明を受けた後、人形を使い胸骨圧迫による心臓マッサージとAED(自動体外式除細動機)の操作に挑戦。参加者は、心臓マッサージについて「力加減が難しい」「思ったより力がある」などと話し、子どもや家族の万が一の際の対処法を学びました。



おいしい野菜楽しみ5 24

本別町保健衛生組合(三枝金作組合長)による生ゴミ堆肥の無料配布が5月24日、河川運動公園多目的広場で行われました。用意された堆肥は約1トン。同広場に集まった約30人は、持参したスコップで袋いっぱい堆肥を詰め込み持ち帰りました。初めて堆肥を受け取った柏木町の佐藤美那子さんは、「いい肥料だとうわさを聞いて来た。家庭菜園に利用するので、おいしい野菜がなるのを楽しみにしています」と話しました。



市街地婦人会と懇談5 22

町民と町長が直接対話をする「町長がおじゃまします」が5月22日、中央公民館で開催され、高橋正夫町長が市街地婦人会(田原美枝会長)の会員35人と懇談しました。初めに高橋町長が、町の企業誘致の成果や農業基盤整備に関する事、子育て支援施策や食育の重要性などへの思いを語ったほか、「みんなが元気な町になるよう、協働のまちづくりにご協力をお願いします」とあいさつ。出席者からは「会員が減少する中、雑巾縫いや花植えなどを一生懸命続けています。引き続きご支援をお願いします」などと要望が出されました。



「青パト隊」が地域安全功勞ボランティア団体表彰を受賞6 3

安全で安心な地域づくりに貢献したとして地域安全功勞ボランティア団体表彰を受賞した本別町青色回転灯防犯パトロール隊(石山憲司隊長)の石山隊長および森本永二隊員が6月3日、役場を訪れ、砂原勝副町長に受賞を報告しました。この表彰は、釧路方面防犯協会連合会および北海道警察釧路方面本部長から贈られたもので、石山隊長は、「これまで隊員とともに協力して活動してきたことが表彰され嬉しい。これからも続けていきたいです」と喜びを語りました。同隊は平成19年に発足。車両10台で小学生の登下校時に防犯パトロールを行うなど、本町防犯活動の中核的役割を担っています。



役場職員組合15年ぶりに5 24~25全道大会出場権獲得

第48回全道自治体職員等野球選手権大会全道優勝大会十勝地方本部予選大会(Bブロック)が5月24日~25日、本別町南・弥生球場で開催され、本別町役場職員組合野球部が優勝しました。この大会は今年度、浦幌町および本別町で開催され、十勝管内の市町村などから18チームが出場。2ブロック制のトーナメントで試合が行われ、同野球部は決勝戦で前年度優勝の音更町役場職員組合に10-8で競り勝ち15年ぶりの全道大会出場権を獲得しました。全道大会は、7月下旬にニセコ町で開催され、Aブロックからは新得町役場職員組合が出場します。



義経教室がスタート5 23

義経本別教室が5月23日、中央公民館で開催され、同教室の今年度のプログラムがスタートしました。この教室は、「つどい・ふれあい・心豊かに学ぶ!」をテーマに、年間8回のプログラムを通して健康に関する講座や軽スポーツ、バス旅行などを楽しむもので、仙美里、勇足地区でも開講されます。初回のこの日は、35人が受講。受講者一人ひとりが自己紹介をした後、健康管理センター保健師を講師に、腰痛や肩こり予防についての講話に耳を傾け、肩こり解消のストレッチを行ったほか、カルタゲームも楽しみました。



ボランティア活動に汗6 6

本別高等学校(児玉佳範校長)の3年生70人が6月6日、ボランティアで清掃活動を実施しました。活動は、3班に分かれ本別市街地全域の広範囲で行われ、空き缶や吸い殻などゴミを丁寧に拾い、生徒らは爽やかな汗を流しました。



町中が花いっぱい

町内の自治会や各種団体などが町中にたくさんの花を植えました。きれいに彩られた花壇が、道行くドライバーや来町者、町民の皆さんの目を楽しませています。



野田組（野田仁社長）の社員10人が、地域貢献活動の一環として、町体育館前の花壇にミニダリアやサルビアなど約600株を植えました。



5/23

商工会女性部（新津直子部長）の部員7人が、本別公園内にエゾムラサキツジ40株を植えました。



6/2

市街地婦人会（田原美枝会長）の会員21人が、十勝東北部銀河の里づくり協議会などの助成を受け、道の駅「ステラ★ほんべつ」西側の花壇整備を行い、ペゴニア700株を植えました。



町自治会連合会（三枝金作会長）主催の花いっぱい運動において、国道242号線沿いや公共施設周辺などの花壇にサルビアなど約6000株の花が植えられました。また、南4丁目自治会（吉田武久会長）、共栄自治会（高田敏会長）、勇足元町自治会（佐藤猛会長）、仙美里元町自治会（佐藤秋雄会長）の会員が、帯広開発建設部の補助を得て国道沿いの花壇でペゴニアなど4950株の花植えや芝草の管理作業を行いました。

5/30



6/6

J A本別町女性部（井出克子部長）の部員26人が、本別大橋から本別高校までの通学路にマリーゴールドなどの花約1270株を植えました。

鎌田建設工業（鎌田健治社長）の職員8人が、地域貢献活動の一環として、町道共栄緑町線通りにある花壇にマリーゴールドやペゴニアなど700株の花を植えたほか、同道路沿いの草刈り作業を行いました。

6/18

学校周辺がとてもきれいに

鹿島組（鹿島豊隆社長）の作業員7人が6月20日、本別中央小学校周辺の環境整備に汗を流しました。この取り組みは地域貢献活動の一環として実施されたもので、学校敷地内に積まれた土砂の整地作業のほか、学校隣接の通学路約700メートルの草刈り作業を行い、学校周辺がとてもきれいになりました。



6 20

チャレンジ・ネットワーク ほんべつ加盟団体代表者会議

6 13

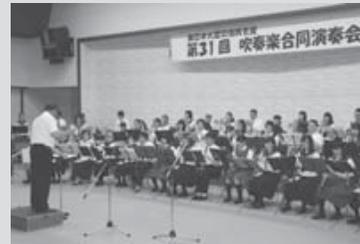
チャレンジ・ネットワークほんべつ（新津和也代表）加盟団体代表者会議が6月13日、総合ケアセンターで開かれました。会議には、町内の障がい者団体などから25人が出席。各団体から平成25年度の事業報告および平成26年度の事業計画などが話されたほか、同会議の今年度の方針として、情報共有を行いながら、町の障がい者福祉について検討し積極的に参画していくことを確認しました。



美しい音色に 大きな拍手

6 14

第31回吹奏楽合同演奏会（町文化協会主催）が6月14日、中央公民館で開かれました。出演した町内の4音楽団体79人は、映画の主題歌や人気アイドルグループのメドレー曲など計13曲を発表したほか、出演者全員による合同演奏では5曲を披露。本別ジュニアプラスアンサンブルの子供たちが演奏に合わせて歌声を響かせる場面もあり、会場を訪れた出演者の家族や友人等約250人の来場者は、美しい音色や迫力ある演奏に聞き入り、1曲終わるごとに大きな拍手を送りました。



懐かしいメロディー を楽しむ

6 17

企画展「作曲家・吉川静夫とほんべつ」関連事業なつかしのレコードを聴く会～作曲家・吉川静夫を知る～が6月7日、資料館で開催されました。当日は吉川静夫さんのかつての教え子や資料館友の会員など、町内外から26人が参加。十勝の昭和歌謡を研究している白石聖二さんの解説のもと、吉川静夫作品をはじめ16曲を鑑賞しました。参加者らは、お茶を飲みながらゆっくりと、蓄音機やレコードプレーヤーから流れる懐かしいメロディーを楽しみました。



十勝の農業・ 味覚を満喫

6 12

札幌市立前田中学校2年生134人が6月12日、宿泊体験研修で本町を訪れました。生徒らは、4班に分かれ、町内農家でしいたげ栽培や枝豆の苗づくりなどの農業体験を行ったほか、ゲンキッチンでの豆腐づくりに挑戦。昼食は本別産和牛などの焼き肉で十勝の味覚を満喫するなど、都会ではできない、農村地域ならではの生活を楽しまました。



未来に輝く 子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星
たちです。お父さん、お母さん
のたくさんの愛に包まれてすく
すく元気に育ってね！



美蘭別
遠藤 綺乃 (のびママ)



押帯
山田 桔平 (香菜ママ)



錦町
岡本 鈴暖 (那奈菜ママ)



中央小学校
川口 奏太 (麻里ママ)



向陽町
對馬 菜恋 (真樹子ママ)



山手町
野口 莉緒 (カキ子ママ)

ご寄付ありがとうございます 平成26年5月23日から6月17日

次の通りご寄付をいただきました。
紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★仙美里保育所指定
牛乳贈答券 10,000円
拓農酪農振興会 会長 戸来 敏典
- ★老人ホーム指定
タオル 40本 …… 市街地婦人会 会長 田原 美枝
タオル 40本 …… 匿 名

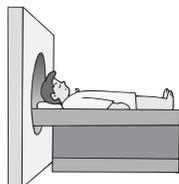
- 紙おむつ 80枚 …… 新町 林 ちづ子
- タオル 77本 …… 本別町赤十字奉仕団 委員長 佐藤 郁子
- ★太陽の丘パークゴルフ場指定
花の苗 400株 …… 柏木町 土谷 隆雄

- 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
- ★町長が必要と認める事業
金 100,000円 …… 帯広市 西藤 亭
金 50,000円 …… 柏木町 千葉 民彌
 - ★福祉でまちづくり推進事業
金 100,000円 …… 押帯 今野 薫

みんなの健康

359

現在、がんの死亡率で大腸がんは女性で第1位、男性は第3位となっており、今後も右肩上がりに増加していくと予想されています。



大腸CT検査 (CT colonography)について

大腸がんは早期発見するためには、定期的に検査を受ける事をお勧めします。当院では、マルチスライスCTを導入し大腸検査を行っていき、早期発見、早期治療することにより完治しやすいがんです。早期発見するためには、定期的に検査を受ける事をお勧めします。当院では、マルチスライスCTを導入し大腸検査を行っていき、早期発見、早期治療することにより完治しやすいがんです。早期発見のためには、定期的な検査を受ける事をお勧めします。当院では、マルチスライスCTを導入し大腸検査を行っていき、早期発見、早期治療することにより完治しやすいがんです。

本別町国民健康保険病院
放射線室
副主査 那須敏彦

足寄町

足寄町観光体験ツアー

足寄町内にはあなたの知らない観光名所・秘境・宝物が数多くあります。この機会に「家族や職場の仲間と気軽に」ご参加ください。

7月9日(水)
※午前8時20分までに道の駅あしよろ銀河ホール21北側駐車場集合

- 目的地 中矢一茂喜登牛一芽登
- 内容 ハスカップ狩り、植坂山トレッキング、芽登温泉入浴など
- 参加費 1人1,000円
- 申込期限 7月4日(金) 午後5時まで
- 申込先・詳細 あしよろ観光協会事務局 ☎2516131

陸別町

第6回ふるさと銀河線りくべつ鉄道まつり

今年も花火やお笑いステージショーなど多彩な催しで皆さんをお迎えます。ぜひお越しください。

7月19日(土)
午後6時～午後9時
7月20日(日)
午前10時～午後3時

- 内容 19日 花火大会、花火列車運行
20日 お笑いステージショー(トレンディエンジェル、ムーディー勝山、タイル、歌謡ショー、銀河線線日子どもイベント)大会、大抽選会
- 詳細 陸別町観光協会事務局 (陸別町役場産業振興課内) ☎2712141 内線135 http://www.town.rkubetsu.hokkaido.jp/



本のある暮らし 160

夏、戦後70年にむけて

戸籍のまど

お誕生

5月後半から6月前半の届出分

- 森住 楓^{かえで} 賢宏^{けんこう} 里美^{りみ} 5/20 勇足西2
- 宮野下 慈^{ちか} 拓美^{たくみ} 5/28 柏木町
- 山川 武^{たけ} 琉^る 司^し 早織^{はやおり} 5/30 中央小学校
- 加藤 毅^{いき} 一^{いち} 優介^{ゆうけい} 点奈^{てんな} 6/5 上押帯

※お詫び

広報ほんべつ6月号で、保護者氏名に誤りがありました。次の通り訂正し、深くお詫びいたします。

誤：伊藤 菜花^{なのはちか} 佳輔^{けいすけ} 夏海^{なつみ}
 正：伊藤 菜花^{なのはちか} 桂輔^{けいすけ} 夏海^{なつみ}

おくやみ

高木 友一^{ともいち} 76歳 4/17 追名牛

※お詫び

広報ほんべつ6月号に掲載すべきところ、不手際により遅れたことを深くお詫びいたします。

- 小山 毅^{いき} 79歳 5/16 勇足元町
- 眞浦ソト工^{まのうら} 89歳 5/17 北3丁目
- 松本 忠治^{ただち} 81歳 5/19 共栄
- 根本マツイ^{もとまツイ} 91歳 5/29 北5丁目
- 久常トミ^{ひさね} 91歳 6/1 上本別
- 今野 義忠^{よしのり} 95歳 6/5 上押帯

わたしたちのまち

前月比
 人口 7,799人(-10)
 男 3,843人(-10)
 女 3,956人(±0)
 世帯数 3,770戸(-6)
 〔5月末日住民基本台帳〕

～読んでおきたい名作～

毎年、図書館では、7月から8月にかけて資料館企画展に合わせた「戦争と平和を考える資料」のテーマ展示をしています。

小学校低学年の児童の皆さんには、絵本や紙芝居の読み聞かせを通して、戦争が実際にあった悲しいできごとであると伝えていきます。

今年のテーマ展示は、来年(2015年)が戦後70年にあたるので、「今だから読んでおきたい戦争を語りつぐ名作」を中心に紹介します。

3月に破損事件で話題になった『アンネの日記』。1947年に出版されて以来、世界のロングセラーです。ユダヤ人の少女アンネが、隠れ家で暮らしながらも、後の時代に戦争の事実を自分のことばで残そうという強い意志を持って、前向きに生きたことが伝わってきます。

今だから、読んでみませんか？ アンネの15年という短い人生が、私たちに多くの問いを投げかけてくれます。

『アンネの日記 完全版』
 アンネ・フランク/著
 深町眞理子/訳



戦争を語りつぐ名作



お問い合わせ先
本別町図書館
 (愛称：ぶつくる一丸)
 本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112